【いなぐま通信】

超音波療法

超音波療法とは超音波を照射する治療法です。物理療法の中で、
もっとも深達性の温熱療法で深部組織の温度上昇作用を持ってます。
鎮痛、抗炎症、軟部組織の伸展性増大などの目的で用いられること
が多いです。

超音波療法の効果

温熱効果：温熱療法と同様の効果で、代謝促進、疼痛と筋スパズムの
軽減、神経伝導速度の増大、血液循環の増加、軟部組織の
伸張性の増大等が得られます。

非温熱効果：通常の超音波が作動している時間の割合が20%以下の
照射では、温度上昇を伴わない効果が認められてます。
この効果には細胞内カルシウムの増加、線維芽細胞による
蛋白合成率の増加等があげられます。

超音波療法の適応

温熱効果：軟部組織（筋肉等）が短縮し、硬くなった関節包、腱、靭帯
に対するｽﾄﾚｯﾁ効果を高めることや、疼痛のコントロールを
目的として用いられてます。

非温熱効果：創傷治癒の促進、腱鞘炎治療、骨折治療の促進などに
用いられてます。

今回の超音波療法について気になる事が御座いましたら、いつでも
御気軽に御相談下さい。
それと家庭用にも超音波機器があります、使用方法等は必ず
取扱説明書等をしっかり読み理解した上で御使用下さい。

バックナンバー

2011/12号 COPD
2011/11号 心肺蘇生法2
2011/10号 心肺蘇生法1
2011/9号 AED
2012/8号 超音波療法
2012/7号 シンスプリント
2012/6号 杖
2012/5号 筋の損傷2
2012/4号 オスグッド
2012/3号 筋の損傷1
2012/2号 手洗い･うがい
2012/1号 笑い
過去のものはこちらから

Copyright(C) 2004 Inaguma Orthopedics Clinic All Rights Reserved.